

第二十二類 旗章

第一款 海軍旗章

●海軍旗章令

昭和七年十一月二十四日
勅令第三百五十九號

改正 昭和十三年第五一三號、一五年第八九一號

朕海軍旗章令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
(總理、海軍大臣副署)

海軍旗章令

第一章 總則

頁(參考)
一六七

第二章 旗章掲揚法

一六八

第一節 通則

一六八

第二節 天皇旗、攝政旗、皇族旗及外國ノ

元首又ハ皇族ニ對シ掲揚スル旗章……………一七〇

第三節 海軍大臣旗

一七〇

第四節 將旗、代將旗

一七〇

第五節 長旗

一七二

第六節 司令旗

一七二

第七節 先任旗

一七二

第八節 國旗

一七二

〔海二十二〕

第九節 軍艦旗……………一七二

第十節 艦首旗……………一七三

第十一節 軍用船旗……………一七四

第十二節 當直旗……………一七四

第十三節 赤十字旗……………一七四

第三章 識別燈……………一七四

第四章 滿艦飾、艦飾、電燈艦飾……………一七五

附則……………一七七

海軍旗章令

第一章 總則

第一條 本令ニ於テ旗章ト稱スルハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

一 天皇旗

二 太皇太后旗、皇太后旗、皇后旗

三 攝政旗

四 皇太子旗、皇太孫旗

五 皇太子妃旗、皇太孫妃旗

六 親王旗、親王妃旗、內親王旗、王旗、王妃旗、女王旗

七 海軍大臣旗

八 海軍大將旗

九 海軍中將旗

十 海軍少將旗

十一 代將旗

十二 長旗

十三 司令旗

十四 先任旗

十五 國旗

十六 軍艦旗

十七 艦首旗

十八 軍用船旗

十九 當直旗

二十 赤十字旗

前項第二號及第四號乃至第六號ノ旗章ハ之ヲ皇族旗ト總稱ス
ス

第一項第八號乃至第十號ノ旗章ハ之ヲ將旗ト總稱ス

第二項第一號乃至第十一號ノ旗章ノ列序ハ記載ノ順序ニ依ル

第二條 天皇旗、攝政旗及皇族旗ノ制式ハ皇室儀制令ノ定ムル

所ニ依ル但シ雨風等ノ際ニハ黃旗布ヲ以テ菊章ヲ作リタルモ

ノヲ用フルコトヲ得

前條第一項第七號乃至第十四號及第十六號乃至第二十號ノ旗章ノ制式ハ附圖ニ依ル

第三條 本令ニ於テ艦船ト稱スルハ軍艦、驅逐艦、潛水艦、水

雷艇、掃海艇、驅潛艇、特務艇、特務艇及海軍軍人ノ指揮スル雜役船ヲ謂ヒ艦艇ト稱スルハ軍艦、驅逐艦、潛水艦、水雷艇、掃海艇及驅潛艇ヲ謂ヒ短艇ト稱スルハ海軍軍人ノ指揮スル短艇ニシテ櫓艇ニ非ザルモノヲ謂フ

本令ニ於テ海軍軍人ト稱スルハ現役海軍軍人竝ニ召集中ノ豫備役及後備役海軍軍人ヲ謂フ

海軍軍人ノ指揮スル特設艦船ハ本令ノ適用ニ付テハ其ノ種別ニ從ヒ之ヲ軍艦、驅逐艦、水雷艇、掃海艇、驅潛艇、特務艇、特務艇又ハ雜役船ト看做ス

第四條 海軍兵科若ハ航空科特務士官又ハ召集中ノ兵科豫備將校艦船又ハ特設艦船ヲ指揮スル場合本令ノ適用ニ付テハ海軍將校ノ指揮スル場合ニ準ズ

第二章 旗章掲揚法

第一節 通則

第五條 旗章ハ已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外開キテ之ヲ引揚グ

ベシ但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 第一條第一項第一號乃至第十三號ノ旗章ハ別段ノ規定

アル場合ヲ除クノ外艦船ニ在リテハ其ノ大櫓頂、短艇ニ在リテハ其ノ艇首ノ旗竿、海軍陸上各廳ニ在リテハ其ノ廳ノ旗竿ニ之ヲ掲揚ス

前項ノ旗章ハ同一ノ艦船、短艇又ハ海軍陸上各廳ニ於テハ二以上ヲ掲ゲズ列序ノ最上位ノモノ又ハ上席者ニ對スルモノノミヲ掲揚ス但シ艦船ニ於テハ皇族旗又ハ海軍大臣旗ト將旗、代將旗、長旗又ハ司令旗トハ之ヲ併揚ス

前項但書ノ場合ニ於テ二櫓以上ノ艦船ニ皇族旗ヲ掲揚スルトキハ將旗、代將旗、長旗又ハ司令旗ハ大櫓以外ノ櫓頂ニ之ヲ掲揚ス

外國ノ旗章ハ第一條第一項第一號乃至第十三號ノ旗章ト之ヲ併揚ス

前項ノ場合ニ於テ二櫓以上ノ艦船ニ天皇旗、攝政旗又ハ皇族旗ヲ掲揚スルトキハ外國ノ旗章ハ大櫓以外ノ櫓頂ニ之ヲ掲揚ス

第七條 同一櫓頂ニ二以上ノ旗章ヲ併揚スルトキニ於テ軍艦旗

アル場合ニハ常ニ之ヲ右舷ノ方ニ掲揚シ其ノ他ノ場合ニハ列

序ノ上位ノ旗章ヲ右舷ノ方ニ掲揚ス

前項ノ場合ニ於テ外國ノ旗章ト併揚スルトキハ天皇旗、攝政旗、皇族旗又ハ軍艦旗ハ外國ノ旗章ノ右舷ノ方ニ其ノ他ノ旗章ハ其ノ左舷ノ方ニ之ヲ掲揚ス

第八條 外國ノ元首若ハ皇族ニ對シ又ハ外國ノ祝日等ニ當リ當

該國ノ旗章ヲ掲揚スルハ帝國ニ於テ其ノ政府ヲ公然承認シタルモノニ限ル

前項ノ規定ニ依リ掲揚スル旗章ハ當該國ノ軍艦旗トシ軍艦旗ノ制ナキ國ナルトキハ其ノ國旗トス

第九條 二隻以上ノ艦船同所ニ在泊シ又ハ共ニ入港シ、出港シ

若ハ航行スル場合ニ於テハ軍艦旗及艦首旗竝ニ滿艦飾又ハ艦飾ノ掲揚及降下ハ首席指揮官ノ乘艦ニ倣フベシ

第十條 潜水艦潛航スルトキハ總テノ旗章ヲ掲揚セザルコトヲ得

第十一條 禮砲施行ノ際ニ於ケル旗章ノ掲揚法ニ付テハ海軍禮砲令ノ定ムル所ニ依ル

第十二條 艦船ノ構造又ハ役務其ノ他ノ關係上本令ニ依ルコト

能ハザル場合又ハ本令ニ規定ナキ場合ノ旗章ノ掲揚ニ付テハ

海軍大臣之ヲ處理スルコトヲ得

第十三條 首席指揮官ハ旗章ノ掲揚ニ關シ豫メ海軍大臣ノ命ヲ受クル暇ナキトキ又ハ儀制上彼我厚薄ノ差ヲ生ジ不權衝ト認ムルトキハ帝國ノ威嚴ヲ損ゼザル限リ臨機ノ處置ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ速ニ其ノ情況ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第二節 天皇旗、攝政旗、皇族旗及外國ノ元首

又ハ皇族ニ對シ掲揚スル旗章

第十四條 天皇旗ハ天皇乘御ノトキ艦船又ハ短艇ニ之ヲ掲揚ス

天皇短艇ニテ艦船ニ臨御ノトキハ短艇著艦ト同時ニ艦船ニ天皇旗ヲ掲揚シ短艇ノ天皇旗ヲ撤去ス艦船ヨリ短艇ニ乘御ノトキハ短艇發艦ト同時ニ短艇ニ天皇旗ヲ掲揚シ艦船ノ天皇旗ヲ撤去ス

天皇將旗又ハ代將旗ヲ掲揚スル海軍陸上各廳ニ臨御ノトキハ天皇旗ヲ掲揚ス

第十五條 攝政旗ハ前條ノ規定ニ準ジ之ヲ掲揚ス

第十六條 皇族旗ハ第十四條第一項及第二項ノ規定ニ準ジ之ヲ掲揚ス但シ第一條第一項第四號乃至第六號ノ皇族旗ハ公式ノ場合ニ非ザレバ之ヲ掲揚セズ

第十七條 外國ノ元首又ハ皇族ニ付テハ第十四條第一項及第二

項竝ニ前條但書ノ規定ヲ準用ス但シ旗章ハ第八條第二項ニ定ムル所ニ依ル

第三節 海軍大臣旗

第十八條 海軍大臣旗ハ海軍大臣公式ニ艦船又ハ短艇ニ乘リタルトキ之ヲ掲揚ス

海軍大臣短艇ニテ艦船ニ來乘スルトキハ短艇著艦ト同時ニ艦船ニ海軍大臣旗ヲ掲揚シ短艇ノ海軍大臣旗ヲ撤去ス艦船ヨリ短艇ニ乘リタルトキハ短艇發艦ト同時ニ短艇ニ海軍大臣旗ヲ掲揚シ艦船ノ海軍大臣旗ヲ撤去ス

第四節 將旗、代將旗

第十九條 將旗ハ指揮權ヲ有スル海軍大將、海軍中將又ハ海軍少將ノ旗章トシ海上勤務ノ司令長官又ハ司令官ニ在リテハ其ノ坐乘スル艦船ニ、陸上勤務ノ司令長官又ハ司令官ニ在リテハ其ノ廳ニ之ヲ掲揚ス

特命檢閱使其ノ檢閱艦船部隊等ノ所在地ニ在ルトキ、司令長官又ハ司令官ニ非ザル大演習又ハ小演習ノ統監及海軍特別大演習ニ於テ勅命ニ依リ其ノ演習ヲ統裁指導スル軍令部總長各其ノ演習艦船部隊等ノ所在地ニ在ルトキ竝ニ司令長官又ハ

司令官ニ非ザル觀艦式指揮官觀艦式參列ノ艦船部隊ヲ指揮スルトキハ各其ノ乗用ニ充テラレタル艦船ニ特ニ將旗ヲ掲揚スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第六條第二項、第二十二條第一項及第三項竝ニ第二十六條第一項但書ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル海軍大將、海軍中將又ハ海軍少將公式ニ短艇ニ乘リタルトキハ指揮權ノ有無ニ拘ラズ之ニ將旗ヲ掲揚ス

一 前條ノ規定ニ依リ將旗ヲ掲揚スルコトヲ得ル者及部隊長タル者

二 元帥、軍令部總長及軍事參議官

三 外國ノ艦船又ハ官廳ヲ訪問スル者

司令長官、司令官又ハ部隊長タル將官解職退去ノ際短艇ニ乘リタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

艦船部隊ノ長海軍少將ニ進級シ解職退去ノ際短艇ニ乘リタルトキハ之ニ將旗ヲ掲揚スルコトヲ得

第二十一條 代將旗ハ司令官タル海軍大佐ノ旗章トシ海上勤務ノ場合ニ在リテハ其ノ坐乗スル艦船ニ、陸上勤務ノ場合ニ在リテハ其ノ廳ニ之ヲ掲揚ス

司令官タル海軍大佐公式ニ短艇ニ乘リタルトキハ之ニ代將旗ヲ掲揚ス

司令官タル海軍大佐解職退去ノ際短艇ニ乘リタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 將旗又ハ代將旗ハ司令長官又ハ司令官著任ノ際之ヲ掲揚シ解職ニ依リ退去ノ際之ヲ撤去ス

司令長官又ハ司令官事故アリテ其ノ職務ヲ執ルコト能ハザルトキハ其ノ間將旗又ハ代將旗ヲ撤去ス

前項ノ規定ニ依リ其ノ旗章ヲ撤去スル場合ニ於テ代理官兵科將官又ハ司令官タル海軍大佐ナルトキハ第十九條第一項又ハ前條第一項ノ規定ニ準ジ其ノ旗章ヲ掲揚ス但シ代理官其ノ本職ニ對スル將旗又ハ代將旗ヲ掲揚スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條第二項ノ規定ハ本條第一項及前項ノ規定ニ依ル將旗又ハ代將旗ノ掲揚及撤去ニ付之ヲ準用ス

第二十條第一項ノ規定ハ本條第三項ノ代理官公式ニ短艇ニ乘リタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 陸上勤務ノ司令長官又ハ司令官公式ニ一時部下ノ艦船ニ乗リタル場合ニ於テ必要アルトキハ之ニ將旗又ハ代將旗ヲ移揚スルコトヲ得但シ戰時、事變、演習及檢閲ノ場合ヲ除クノ外豫メ海軍大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第五節 長旗

第二十四條 長旗ハ各艦船ヲ指揮スル海軍將校ノ旗章トシ艦船ニ之ヲ掲揚ス但シ特務艇及雜役船ニ在リテハ軍港又ハ要港以外ニ行動スル場合ニ限り掲揚スルモノトス
艦長、特務艦長、驅逐隊司令、潛水隊司令、水雷隊司令、掃海隊司令、驅潛隊司令、海軍港務部長又ハ將官ニ非ザル防備隊司令、海軍航空隊司令若ハ海兵團長公式ニ短艇ニ乗リタルトキハ長旗ヲ掲揚ス
前項ニ掲グル諸官解職退去ノ際短艇ニ乗リタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス
訪問使外國ノ艦船又ハ官廳ヲ訪問ノ際短艇ニ乗リタルトキハ長旗ヲ掲揚ス

第六節 司令旗

第二十五條 司令旗ハ驅逐隊司令、潛水隊司令、水雷隊司令、

掃海隊司令又ハ驅潛隊司令ノ旗章トシ司令驅逐艦、司令潛水艦、司令水雷艇、司令掃海艇又ハ司令驅潛艇ニ之ヲ掲揚ス
第二十二條第一項及第二項ノ規定ハ司令旗ノ掲揚及撤去ニ付之ヲ準用ス

第七節 先任旗

第二十六條 先任旗ハ二隻以上ノ艦船軍港又ハ要港以外ニ於テ碇泊スルトキ首席指揮官乗艦ノ前方檣（檣頂ニ旗章掲揚設備ヲ有セザルモノヲ含ム）右舷桁端ニ之ヲ掲揚ス但シ同一艦隊、戰隊、驅逐隊、潛水隊、水雷隊、掃海隊又ハ驅潛隊ノ艦船ニ於テハ必要ノ場合ニ限り、將旗又ハ代將旗ヲ掲グル艦船ニ於テハ他ニ列序同位ノ旗章ヲ掲揚スル艦船在泊スル場合ニ限り之ヲ掲揚ス

第八節 國旗

第二十七條 艦船外國港灣ニ碇泊スル場合ニ於テ帝國ノ外交官又ハ領事官公式訪問ノ爲艦船ノ短艇ニ乗リタルトキハ國旗ヲ艇首ノ旗竿ニ掲揚スベシ

第九節 軍艦旗

第二十八條 軍艦旗ハ艦艇及特務艦ノ後部旗竿又ハ斜桁ニ之ヲ

掲揚ス但シ潛水艦ニ在リテハ航海中又ハ已ムヲ得ザル場合ニ限リ艦橋後部旗竿又ハ檣頂ニ之ヲ掲揚スルコトヲ得

特務艇及海軍軍人ノ指揮スル雜役船儀制ニ關スルトキ又ハ軍港若ハ要港以外ニ行動スルトキハ前項ノ規定ニ準ジ軍艦旗ヲ掲揚スルモノトス

第二十九條 軍艦旗ハ碇泊中午前八時ニ之ヲ掲揚シ日沒時ニ至リ之ヲ降下スベシ

第三十條 艦船合戰準備ヲ行ヒタルトキハ前條ノ規定ニ拘ラズ常ニ軍艦旗ヲ掲揚スベシ

艦船戰團中ハ前項ニ規定スルモノノ外檣頂ニ軍艦旗一旒ヲ掲揚スルヲ例トス

第三十一條 艦船碇泊中禮砲ヲ施行スルトキ又ハ外國ノ艦船若ハ船舶旗章ヲ掲ゲテ入港シ、出港シ若ハ近傍ヲ通過スルトキハ第二十九條ノ規定ニ拘ラズ旗章ヲ識別シ得ル間ハ軍艦旗ヲ掲揚スベシ

艦船外國港灣在泊中ハ第二十九條ノ規定ニ拘ラズ必要ニ應ジ軍艦旗ヲ掲揚スルコトヲ得

第三十二條 第三十條第一項及前條ノ場合ニ於テハ軍艦旗ハ第

二十九條ノ掲揚時刻ノ五分前一旦之ヲ降下シテ規定ノ時刻ニ再ビ掲揚シ又日沒時一旦之ヲ降下シテ再ビ掲揚スベシ

第三十三條 艦船航行中ハ夜間旗章ヲ識別シ難ク且附近ニ船舶燈臺等ヲ認メザルトキノ外軍艦旗ヲ掲揚スベシ

第三十四條 短艇水上ニ在ル場合ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ艇尾ノ旗竿ニ軍艦旗ヲ掲揚スベシ

一 儀制ニ關スルトキ

二 外國ノ艦船ト交通ヲ爲ストキ

三 帝國領水以外ニ在リテ本艦船ニ繫留セラレザルトキ

四 前各號ニ掲グル場合ノ外必要ト認ムルトキ

前項ノ軍艦旗ニ付テハ第二十九條ノ規定ヲ準用ス但シ必要アルトキハ第二十九條ニ規定スル時間以外ト雖モ之ヲ掲揚スルコトヲ得

艦船裝備ノ櫓艇外國港灣ニ在リテ單獨本艦船ヲ離ルル場合ニ於テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第三十五條 海軍ノ陸上部隊、學校、航空機等ニ在リテハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ軍艦旗ヲ掲揚スルコトヲ得

第十節 艦首旗

第三十六條 艦首旗ハ軍艦、驅逐艦、水雷艇、掃海艇、驅潛艇

又ハ特務艦碇泊中艦首ノ旗竿ニ之ヲ掲揚ス其ノ掲揚及降下ニ

付テハ第二十九條ノ規定ヲ準用ス但シ儀制ニ關シ第二十九條

ニ規定スル時間以外ニ於テ軍艦旗ヲ掲揚スル場合ニ在リテハ

艦首旗ヲ掲揚スルモノトス

艦首旗ハ演習、教練又ハ入渠中ハ之ヲ掲揚セザルコトヲ得

第十一節 軍用船旗

第三十七條 軍用船旗ハ海軍軍人ノ指揮セザル特設艦船ノ大橋

頂ニ之ヲ掲揚ス但シ病院船ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第十二節 當直旗

第三十八條 當直旗ハ當直艦船ノ前方橋（橋頂ニ旗章掲揚設備

ヲ有セザルモノヲ含ム）左舷桁端ニ之ヲ掲揚ス但シ將旗、代

將旗又ハ先任旗ヲ掲グル軍艦ニ於テ及同港灣ニ二隻以上ノ當

直艦アル場合首席ニ非ザル司令長官又ハ司令官ノ定ムル所ニ

依リ當直ヲ施行スル軍艦ニ於テハ當直授受ノ際ノミ之ヲ掲揚

ス

第十三節 赤十字旗

第三十九條 赤十字旗ハ戰時又ハ事變ノ際海軍病院若ハ治療所

ノ旗竿又ハ病院船ノ大橋頂ニ之ヲ掲揚ス病院、治療所又ハ病
院船用ノ物品ヲ運送スル舟車等ニ亦之ヲ用フルコトヲ得

第三章 識別燈

第四十條 第一條第一項第一號乃至第十一號ノ旗章ヲ掲揚スル

艦船ニ於テハ日沒時ヨリ日出時迄後方橋ノ桁後面ニ左ノ區分

ニ依リ白燈ヲ掲グ

一 天皇旗、攝政旗 燈數 五個

二 皇族旗 燈數 四個

三 海軍大臣旗、海軍大將旗 燈數 三個

四 海軍中將旗 燈數 二個

五 海軍少將旗、代將旗 燈數 一個

前項第一號乃至第四號ノ白燈ハ約一メートルノ間隔ヲ以テ之

ヲ並列ス

外國ノ元首又ハ皇族ニ對スル旗章ヲ掲揚スル艦船ニ付テハ第

一項第一號又ハ第二號及前項ノ規定ヲ準用ス

第一項第三號乃至第五號ノ白燈ハ航行中ニ在リテハ特ニ必要

アル場合ノ外之ヲ掲ゲズ

第四十一條 第二十五條ノ規定ニ依リ司令旗ヲ掲揚スル艦艇ハ

碇泊中日没時ヨリ日出時迄白燈一個ヲ大樁桁端ニ掲グ

第四十二條 二以上ノ旗章ヲ併揚スル艦船ニ於ケル識別燈ハ列序ノ最上位ノ旗章ニ對スルモノ又ハ上席者ニ對スルモノヲ掲グ

第一條第一項第一號乃至第十一號ノ旗章ト外國ノ元首又ハ皇族ニ對スル旗章ト併揚スル艦船ニ於ケル識別燈ハ燈數最多キモノヲ掲グ同數ノ場合ニ在リテハ我國ノ旗章ニ對スルモノヲ掲グ

第四章 滿艦飾、艦飾、電燈艦飾

第四十三條 滿艦飾ハ軍艦、驅逐艦、水雷艇、掃海艇、驅潛艇又ハ特務艦、艦飾ハ艦艇又ハ特務艦碇泊中ニ之ヲ行フ

滿艦飾ヲ行フニハ各樁ニ互リ艦首ヨリ艦尾ニ信號旗ヲ連揚シ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外各樁頂ニ軍艦旗ヲ掲揚ス艦飾ヲ行フニハ單ニ各樁頂ニ軍艦旗ヲ掲揚ス

第四十四條 軍艦、驅逐艦、水雷艇、掃海艇、驅潛艇及特務艦

左ノ場合ニ於テハ滿艦飾ヲ行フベシ

一 紀元節

二 天長節

三 明治節

四 天皇又ハ皇族ニ對シ皇禮砲ヲ行フベキ日

五 前各號ニ掲グル場合ノ外特ニ海軍大臣ノ定ムルトキ

潛水艦及海軍軍人ノ指揮スル特設艦船（特設特務艇及雜役船ヲ除ク）前項ノ場合ニ於テハ艦飾ヲ行フベシ

第四十五條 我國ノ爲滿艦飾ヲ行フベキ日ニ當リ外國艦船帝國

艦船ト同所ニ在泊スルトキハ首席指揮官ハ其ノ前日ニ將校ヲ各外國海軍首席指揮官ニ遣シ滿艦飾ヲ行フ旨ヲ公式ニ告知シ

尙外國港灣ニ於テハ相當ノ手續ヲ經テ所在地方廳ニモ之ヲ告知スルコトヲ要ス軍港又ハ要港以外ノ港灣ニ於テ外國艦船ノ

ミ在泊スルトキハ當該地方長官又ハ之ニ準ズベキ者ハ部下ノ官吏ヲ遣シ我ニ於テ滿艦飾ヲ行フベキ日ナル旨ヲ公式ニ告知スベシ

外國艦船前項ノ告知ヲ受テ敬意ヲ表シタルトキハ其ノ首席指揮官ニ對シ翌日迄ニ將校又ハ官吏ヲ遣シテ謝意ヲ通ズベシ

第四十六條 我國ノ爲滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フニ當リ第一條第一

項第一號乃至第十一號ノ旗章ヲ掲揚スル樁頂ニハ軍艦旗ヲ掲揚セズ但シ單樁ノ艦船ニ在リテハ天皇旗、攝政旗及皇族旗以

外ノ旗章ハ之ヲ軍艦旗ト併揚ス

第四十七條 外國ノ元首又ハ皇族ニ對シ皇禮砲ヲ行フベキ日ニ

於テハ所在軍艦、驅逐艦、水雷艇、掃海艇、驅潛艇及特務艦ハ滿艦飾ヲ行ヒ潛水艦及海軍軍人ノ指揮スル特設艦船(特設特務艇及雜役船ヲ除ク)ハ艦飾ヲ行フベシ

第四十八條 帝國艦船同所ニ在泊スル外國艦船ノ本國ノ祝日等

ニ會シ又ハ外國港灣ニ在リテ其ノ國ノ祝日等ニ會シ當該國海軍首席指揮官、地方廳、領事等ヨリ首席指揮官ニ其ノ旨公式ニ告知アリタルトキハ滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フベシ

帝國艦船外國港灣ニ入港ノ際現ニ當該國其ノ他ノ外國ノ祝日等ニ當リ在泊艦船滿艦飾又ハ艦飾ヲ爲シアルニ會スルトキハ前項ノ告知ヲ俟タズ直ニ滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フトナ得

第四十九條 外國ノ爲滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フトキハ大橋頂ニ其

ノ國ノ旗章ヲ掲揚シ我軍艦旗ヲ除クノ外大橋頂ニ掲揚スベキ旗章ハ之ヲ併揚ス但シ單檣ノ艦船ニ在リテハ我軍艦旗ヲモ併揚ス

二以上ノ外國ノ爲ニ滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フトキハ大橋頂ニ當該各國ノ旗章ヲ其ノ國名ノ英母字順ニ依リ右舷ノ方ヨリ左舷

ノ方ニ併揚スル外前項ノ規定ヲ適用ス但シ外國港灣ニ在リテハ其ノ國ノ旗章ヲ右舷ノ方ニ掲揚ス

前二項ノ場合天皇旗、攝政旗又ハ皇族旗ヲ掲揚スルトキハ二檣以上ノ艦船ニ在リテハ外國ノ旗章ハ大橋以外ノ橋頂ニ之ヲ掲揚シ且天皇旗、攝政旗又ハ皇族旗ヲ掲揚スル橋頂及外國ノ旗章ヲ掲揚スル橋頂ニハ我軍艦旗ヲ併揚セズ單檣ノ艦船ニ在リテハ我軍艦旗ヲ併揚セズ

第五十條 我國及外國ノ爲ニ滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フトキハ大橋頂ニ我軍艦旗ヲ、大橋以外ノ橋頂ニ外國ノ旗章ヲ掲揚シ外國ノ旗章ヲ掲揚スル橋頂ニハ我軍艦旗ヲ掲揚セズ但シ單檣ノ艦船ニ在リテハ其ノ橋頂ニ我軍艦旗及外國ノ旗章ヲ併揚ス
前項ノ場合二以上ノ外國ノ爲ニ行フトキハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ場合第一條第一項第一號乃至第十一號ノ旗章ヲ掲揚スル橋頂ニハ我軍艦旗ヲ掲揚セズ但シ單檣ノ艦船ニ在リテハ天皇旗、攝政旗又ハ皇族旗ヲ掲揚スル場合ヲ除クノ外我軍艦旗ヲモ併揚ス

第五十一條 潛水艦並ニ內國ニ在ル驅逐艦、水雷艇、掃海艇及

驅潛艇外國ノ爲ニ滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フ場合ノ旗章ノ掲揚ニ付テハ我國ノ爲滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フ場合ノ例ニ依ル

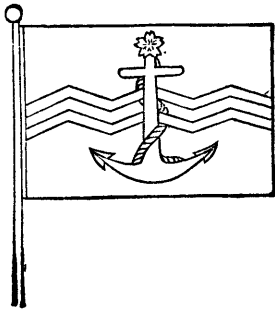
第五十二條 滿艦飾又ハ艦飾ノ掲揚及降下ハ第四十四條第一項

第一號乃至第三號ノ場合ニ在リテハ第二十九條ノ規定ニ準ジ其ノ他ノ場合ニ在リテハ儀制ノ始終ニ於テ爲ステ例トス但シ外國艦船ト同所ニ在リテ其ノ國ノ祝日等ニ會シ滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フトキハ其ノ掲揚及降下ハ成ルベク該艦船ニ倣フベシ艦船滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フベキ日ニ於テ其ノ掲揚時間中ニ入港スルトキハ碇泊後直ニ之ヲ行フテ例トス

滿艦飾又ハ艦飾ヲ行ヒタル艦船出港スルトキハ港外ニ出ヅル迄特ニ艦飾ヲ爲スベシ

(附圖)

海軍大巨旗



山形位置形狀	錨索	橫杆徑	錨徑	錨幹徑	錨全徑	錨索色	錨地	錨全	錨索色
縱ノ二十分一	頂點ノ高縱ノ六分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一
ヨリ起リ三箇ノ山形ヲ連接ス	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一
	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一
	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一	山形ハ縱ノ二分一

滿艦飾又ハ艦飾ヲ行ヒタル艦船ハ必要ニ應ジ其ノ儘錨地ヲ變更スルコトヲ得

第五十三條 滿艦飾又ハ艦飾ヲ行フベキ場合ニ於テ暴風雨等ノ爲施行著シク困難ナルトキハ滿艦飾ヲ艦飾ニ代ヘ、禮砲施行中ノミ滿艦飾若ハ艦飾ヲ行ヒ又ハ全ク之ヲ省略スルコトヲ得

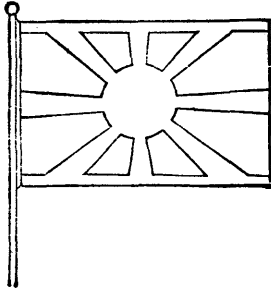
戰時又ハ演習中ハ滿艦飾又ハ艦飾ヲ行ハザルテ例トス

第五十四條 電燈艦飾ハ國家ノ大典、觀艦式其ノ他ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行フモノトス

附則

本令ハ昭和七年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

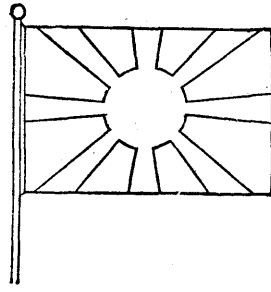
海軍少將旗



上下緣 紅
紅緣幅 縦ノ十五分一

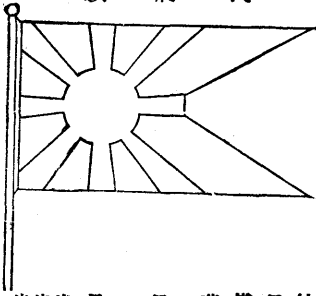
其ノ他海軍大將旗ニ同シ

海軍大將旗



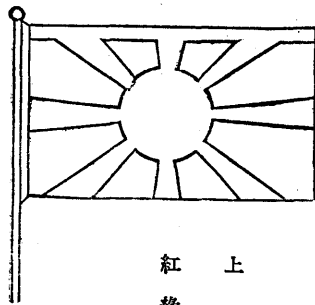
地色 白
日章及光線 紅
横線 縦ノ一ト二分一
日章中心 旗面ノ中心
日章徑 縦ノ二分一
光線幅 十一度四分一
光線間隔 三十三度四分三
光線數 八線

代將旗



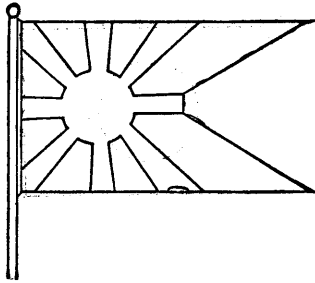
地色 白
日章及光線 紅
横線 縦ノ一ト四分三
燕尾開裂 横ノ二分一上下
日章中心 等分
日章徑 燕尾ヲ除キタル
光線幅 旗面ノ中心
光線間隔 縦ノ二分一
光線數 海軍大將旗ニ同シ

海軍中將旗



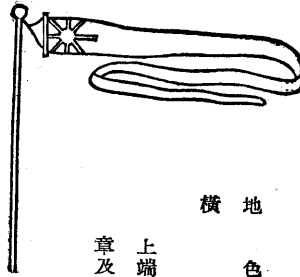
上緣 紅
紅緣幅 縦ノ十五分二
其ノ他海軍大將旗ニ同シ

先任旗



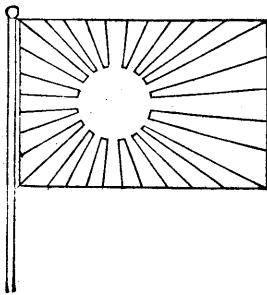
地色 紅
 日章及光線 白
 其ノ他代將旗ニ同シ

長旗



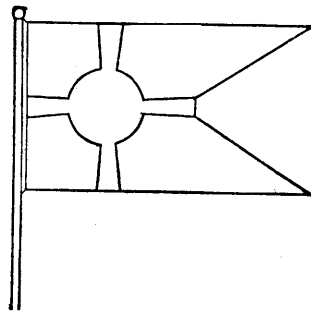
地色 白
 横 縦ノ四十乃至九十
 上端ニ海軍大將旗ト同一ノ日章及光線ヲ附ス

軍艦旗



地色 白
 日章及光線 紅
 横 縦ノ一ト二分一
 日章中心 旗面ノ中心ヨリ
 風上ノ方ニ偏ス
 ルヲト縦ノ六分一
 日章徑 縦ノ二分一
 光線幅 十一度四分一
 光線間隔 十一度四分一

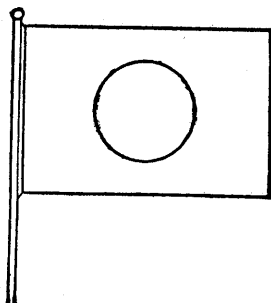
司令旗



地色 白
 日章及光線 紅
 光線幅 十一度四分一
 光線間隔 七十八度四分三
 光線數 四線
 其ノ他代將旗ニ同シ

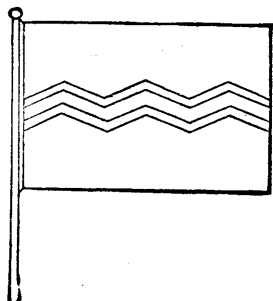
〔海軍〕

艦首旗



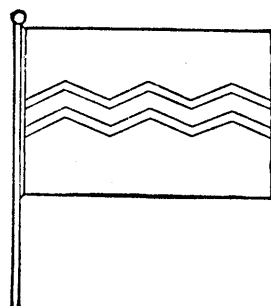
地 色 白
 日 章 紅
 横 章 縦ノ一ト二分一
 日 章 中心 旗面ノ中心
 日 章 徑 縦ノ三分二

當直旗



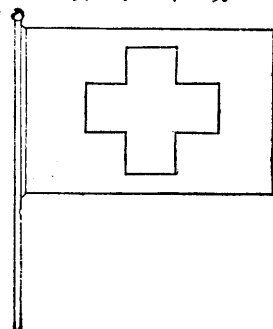
地 色 白
 山 形 紅
 横 形 縦ノ一ト二分一
 山 形 白線 縦ノ十分一
 山 形 位置 頂點ノ高縦ノ六
 分一 上 山 形 ハ 縦ノ二分一
 ヨリ 起リ 下 山 形 ハ 縦ノ三
 分一 ヨリ 起リ 三 箇ノ 山 形
 ヲ 連 接 ス

軍用船旗



地 色 白
 山 形 紺
 横 章 縦ノ一ト二分一
 山 形ノ幅位置及形狀ハ
 當直旗ニ同シ

赤十字旗



地 色 白
 横 章 縦ノ一ト二分一
 十 字 紅
 縦 横 同 長 各 其
 ノ 長 サ ハ 旗 ノ 縦 ノ 四 分
 三 幅 ハ 旗 ノ 縦 ノ 四 分 一
 十 字ノ中心 旗面ノ中心